

初暦丸を付けしが何の丸

田中早苗

時間、場所、要件を書かないと、「何の丸読者も新年から悩む」「つけるのが〇だけじゃダメ初暦」。句になりにくいものを句にして特選となった。



骨折に寝正月をば賜りぬ

久松久子

骨折して寝正月になってしまった。寝正月がマイナスイメージになったが、「賜りぬ」でプラスに見事に転換。楽天的思考で滑稽俳句も賜りぬ。



お年玉もらう時だけスマホ置く

高橋きのこ

俳句は瞬間を描いて前後を想像してもらう。お年玉を貰う直前までスマホ、直後もスマホ。令和二年の正月の風景が記録されたね。



小顔には程遠きかな雪だるま

花岡直樹

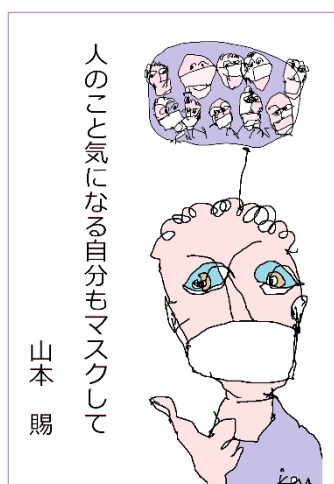
雪だるまが小顔だったら恰好いいのだろうか。否頭が大きいのがいいんだと作者は思っている。あのぽっちゃり体型こそ愛嬌がある。



独楽回る宇宙の渦の真ん中を

桑田愛子

大局的な視点がいいね。大宇宙も回転。太陽系も回転、太陽の周囲を回る地球もそして独楽も回転。入れ子細工かマトリョーシカの構造だね。



人のこと気になる自分もマスクして

山本 賜

マスクは表情を読めないから不愉快だし失礼よね。そう思う自分もマスクをしているという矛盾。この句も俳句になりにくい真実を詠んでお見事。